



朝のあいさつ運動

12月4日(月)の朝、PTAのあいさつ運動がありました。各場所に8名、昇降口前には5名の保護者が参加してくれました。本校の昇降口前は、いつも日かげになってしまうので冬はとても寒いですが、保護者の方々の明るく元気なあいさつに、生徒たちも笑顔でいつもより大きな声で応えていました。



第16回「行動褒賞」の授与

12月1日(金)に第16回の行動褒賞の授与を行いました。2年4組の森下さんと齊藤さん、横堀さん、岡井さん、大本さん、小澤さん、川松さん、舘さん、臼井さん、郡司さんの10名は合唱コンクールの実行委員やパートリーダー、指揮者、伴奏者、学級紹介などを務め、学級のために一生懸命に活動したと担任の川村先生から推薦がありました。学級のためにこれからも頑張ってください。



笠中生にすすめたい一冊の本⑬

今回は、重松清の「きよしこ」を紹介します。重松清の本は、この本のほかにも「きみの友だち」や「せんせい」など少しさびしくて、とても温かい内容が多いです。この本は、前文に書くことになったいきさつが載せられています。息子の吃音に悩む母親からの手紙への返事の代わりに「個人的なお話」として書かれた作品です。

少年は、ひとりぼっちだった。名前はきよし。どこにでもいる少年。転校生。言いたいことがいつも言えずに、くやしかった。思ったことをなんでも話せる友だちが欲しかった。そんな友だちは夢の中の世界にしかいないことを知っていたけれど。ある年の聖夜に出会ったふしぎな「きよしこ」は少年に言った。伝わるよ、きっと……。

私には吃音はありませんでしたが、幼稚園も保育所も行かなかったので小学1年生の頃は一人であることが多く、学校を休みがちでした。言いたいことをあまり言わずに空想ばかりしていたように思います。誰でも自分の思い通り生きられないときもあります。でも、うまくいくときだってきつとくる……。そう思わせてくれる一冊です。

※このコーナーで紹介した本は、図書室に置いてあります。

